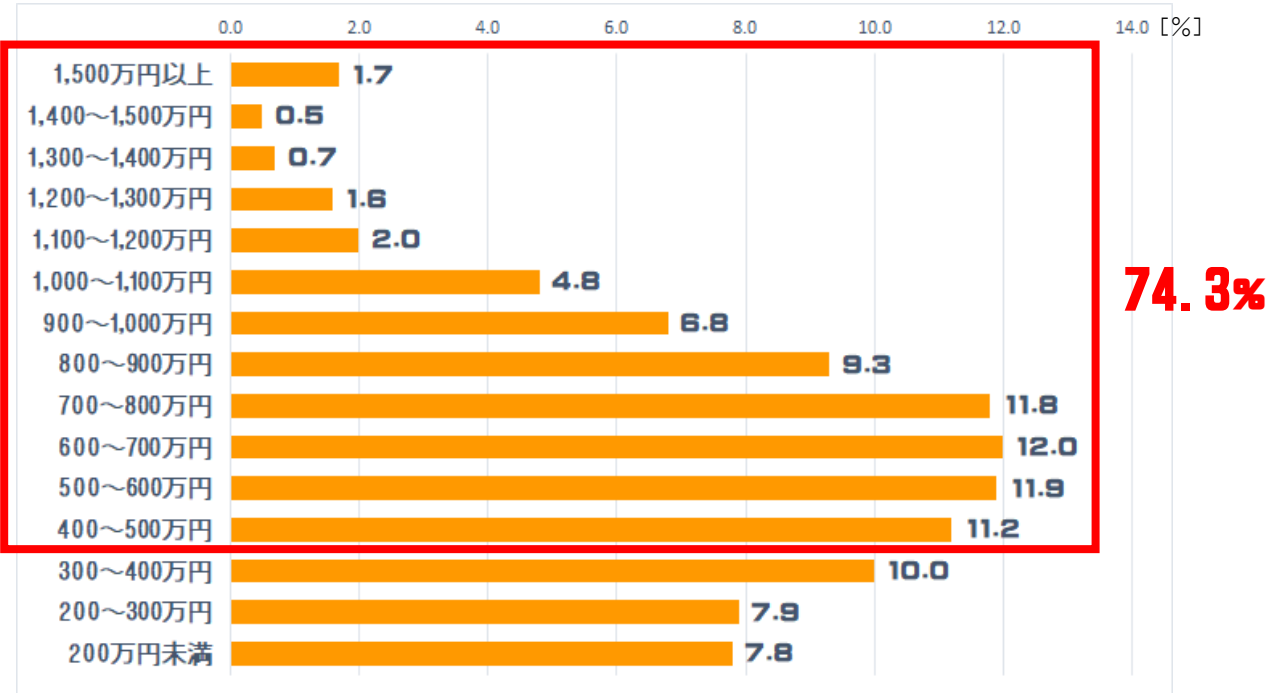


# 図1 奨学金受給者の割合

日本学生支援機構「学生生活調査 2016」より、家庭の年収区分別の奨学金受給者の割合(大学・昼間部)



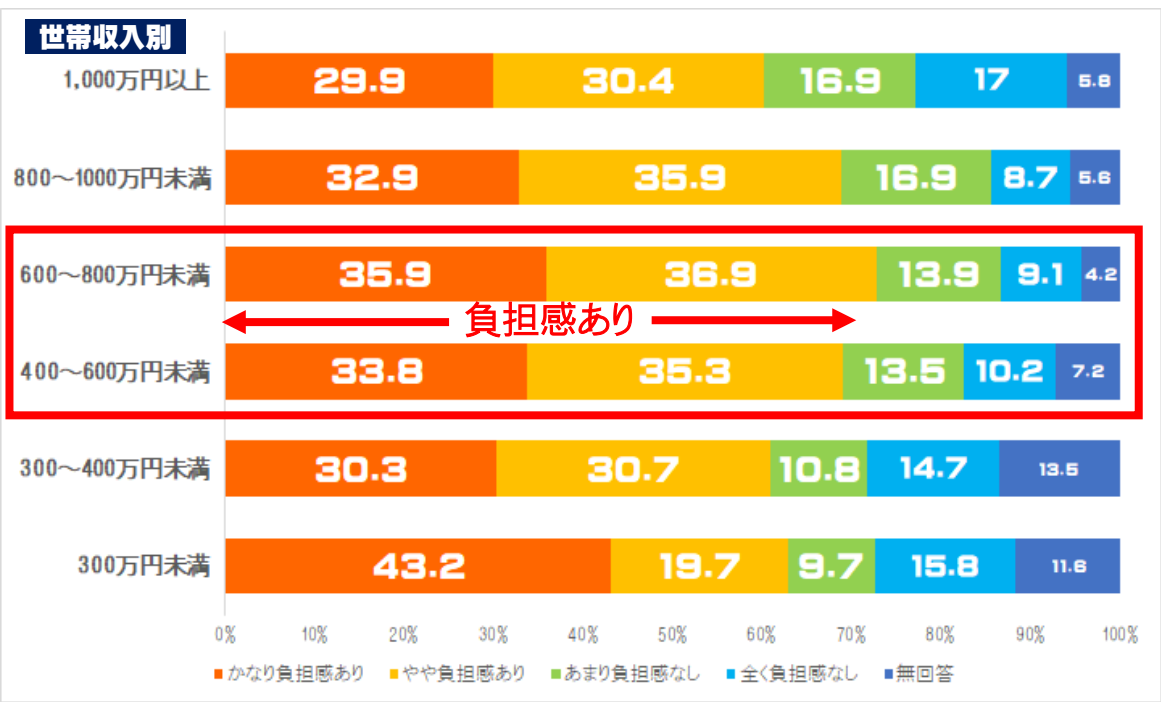
独立行政法人日本学生支援機構 「学生生活調査 2016」より

以下、図2～10は、中央労福協・奨学金アンケート 2018 調査結果より

# 図2 子どもの教育費の負担感

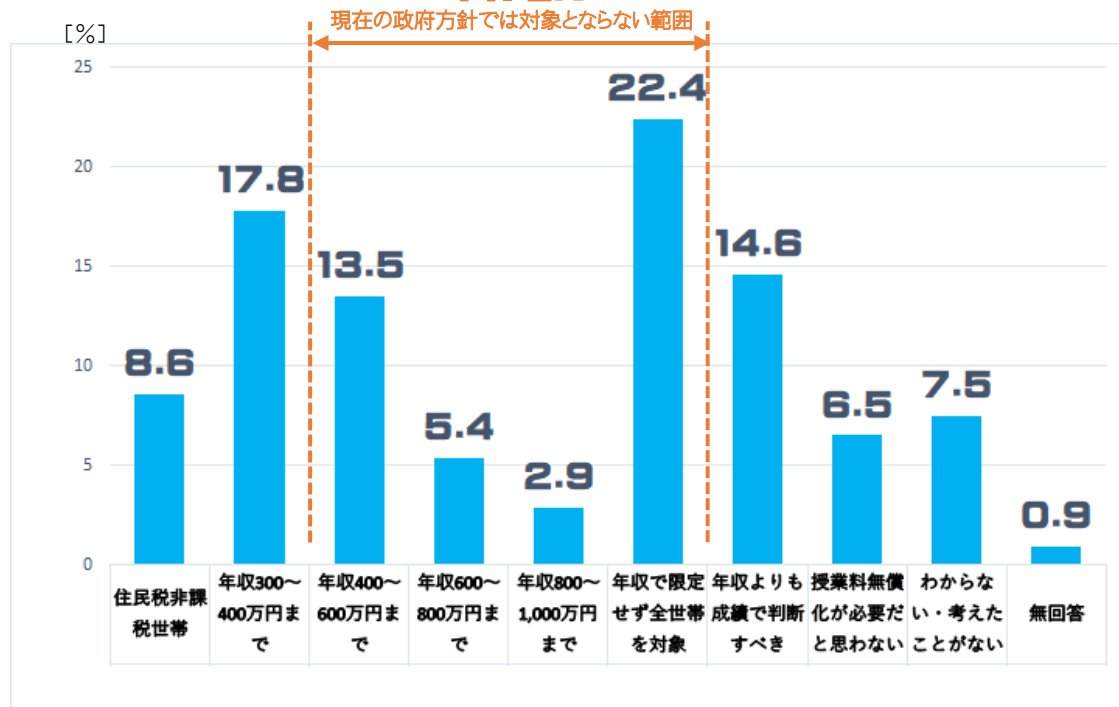
40 歳以上で子どものいる方を対象に抽出

中間層



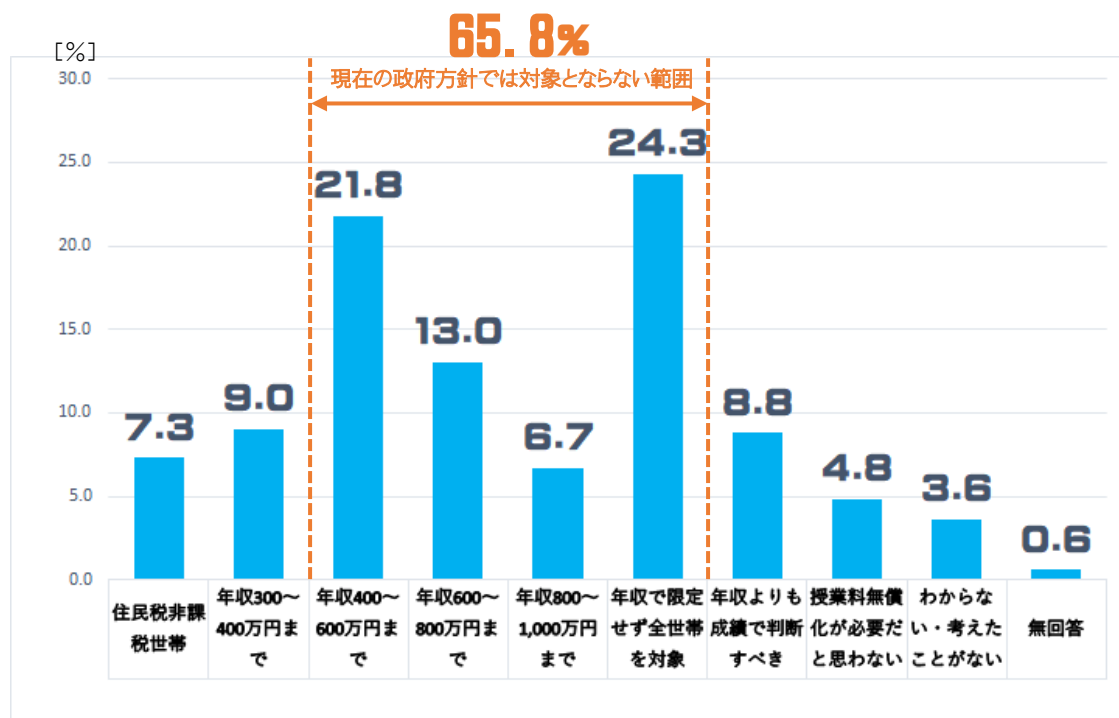
中央労福協・奨学金アンケート 2018

### 図3 政府が検討する大学等の「高等教育の無償化」望ましい対象は？

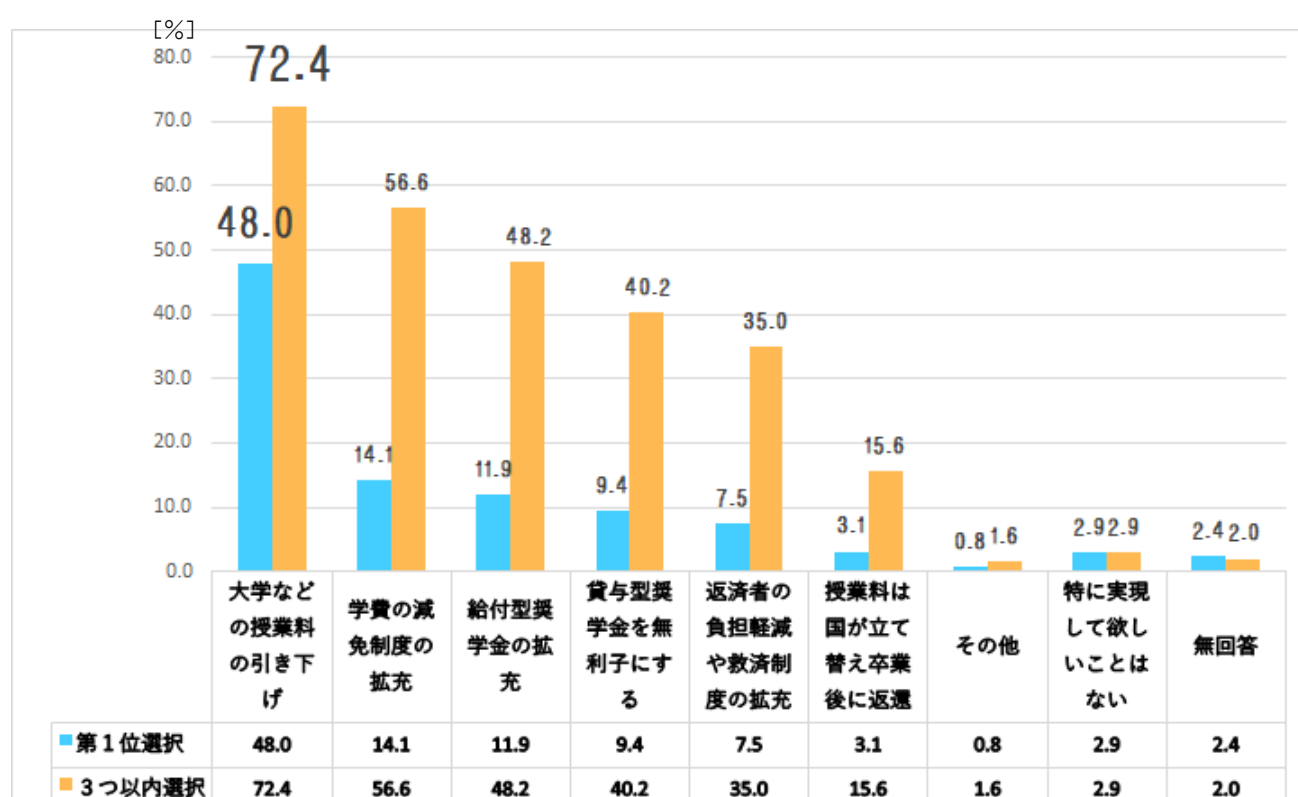


### 図4 政府が検討する大学等の「高等教育の無償化」望ましい対象は？

(世帯年収 400～800 万円における長子が高校生のケース)



## 図5 高等教育の負担に関して 優先的に実現してほしいことは？



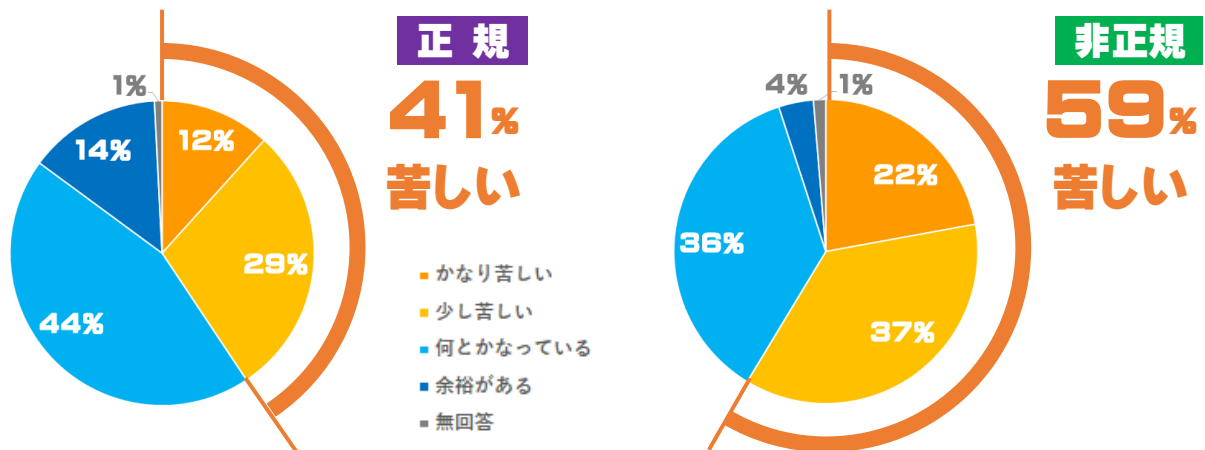
労働者福祉中央協議会

### 奨学金や教育費負担に関するアンケート調査

調査目的	奨学金の利用実態や問題点、教育費負担についての考えを整理し、奨学金制度の改善につなげていくことを目的とする。
調査方法	調査票及びWEBの併用
集計分析	労働調査協議会（労調協）
配布数（調査票）	21,755 枚
有効回収数	16,588 件（調査票 13,938 件、WEB 2,650 件）
調査対象	勤労者
調査時期	2018 年 8 月下旬 ～ 11 月末

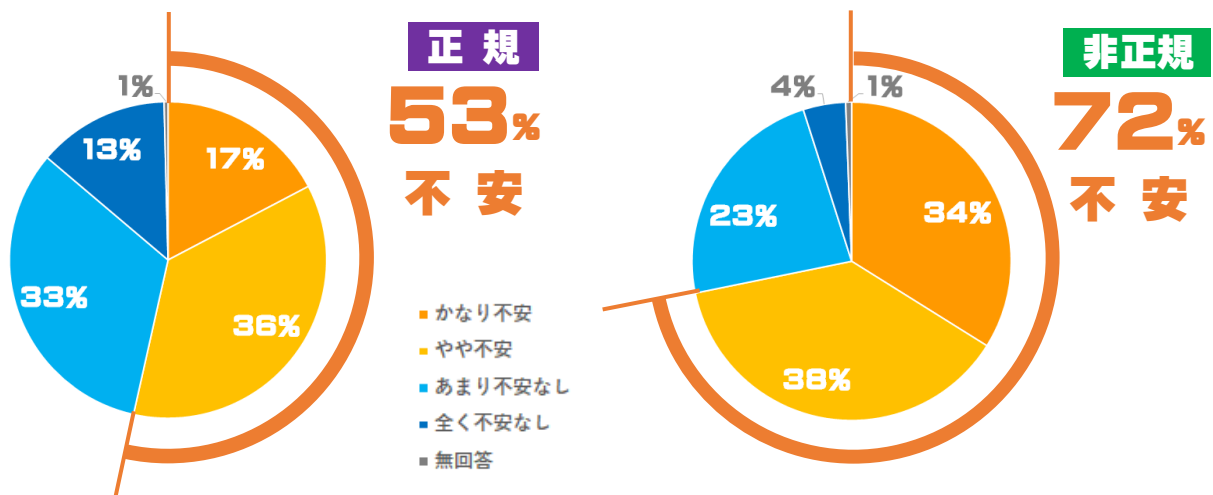
## 図6 奨学金返済の負担感

39歳以下で日本学生支援機構奨学金の利用者を対象として調査

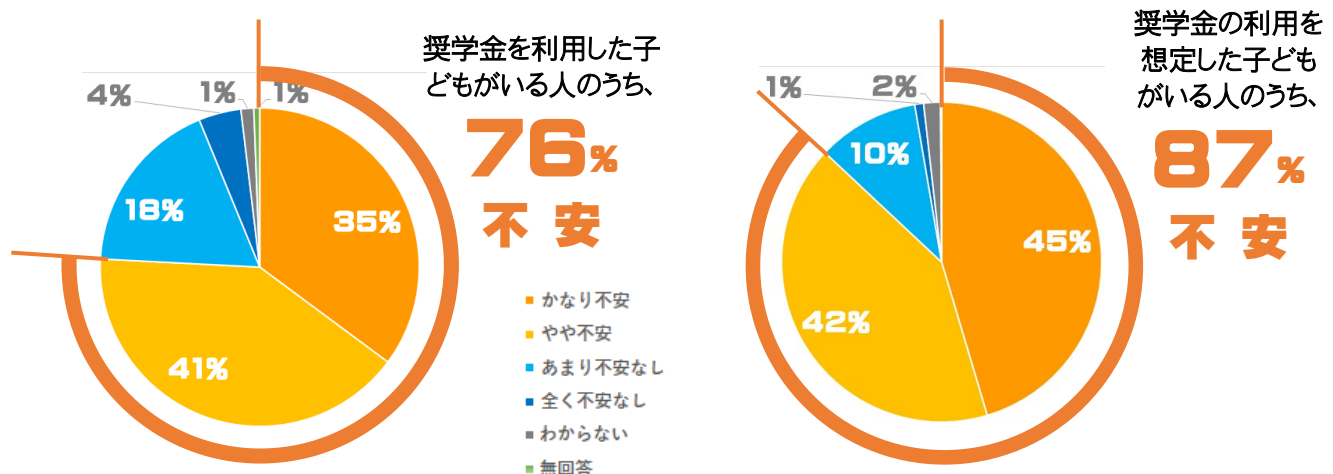


## 図7 奨学金返済の不安感

39歳以下で日本学生支援機構奨学金の利用者、返済中、これから返済する、返済猶予中の者を対象として調査



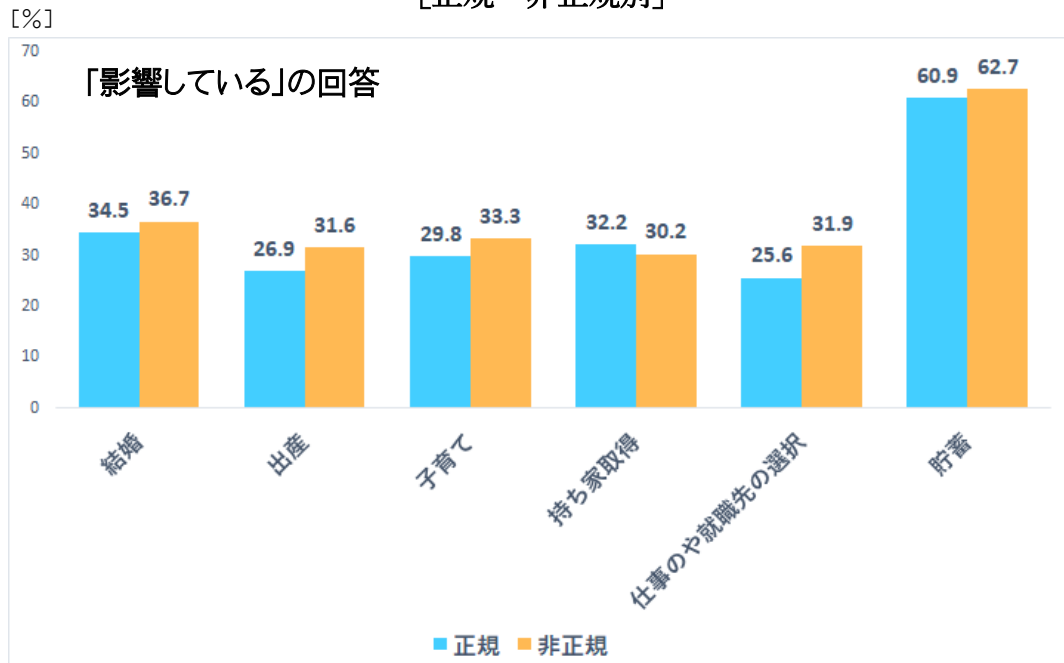
## 図8 子どもが奨学金を返済していくことへの不安感



## 図9 奨学金返還による 生活設計への影響

39 歳以下で貸与型  
奨学金を利用した人

[正規・非正規別]



## 図10 奨学金返還による 生活設計への影響

39 歳以下で貸与型  
奨学金を利用した人

[前回 2015 調査との比較]

